

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

BATPOST

(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報

2026



謹賀新年

令和八年

表紙撮影 アトネック 宮池 健太 氏(F)

Contents

TOPICS.01	●新春特集	P.01-02
	●地区会だより	P.03-08
	●部会だより(青年部)	P.08
	●委員会だより(経営労働 他)	P.09-12
	●どういうグルメ	P.12
	●お店訪問	P.13
	●支部理事会報告	P.14
	●行事カレンダー	P.15

県スローガン

Human First!

～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります 私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～



(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報
発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp> e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

Do-Yu
TOPICS

01



2026新春

新年のご挨拶

年頭あいさつ



広島県中小企業家同友会
福山支部 支部長
豊田 克浩

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
会員の皆様におかれましては、穏やかな
新年をお迎えのことと存じます。日頃より
福山支部の活動に対し、温かいご理解とご
協力を賜っておりますことに、心より御礼
申し上げます。

2026年を迎えた今も、中小企業を取り
巻く経営環境は、物価や人件費の上昇、人
材不足など、厳しさを増しています。不確
実性の高い時代において、経営者が一人で答えを見つけることは
容易ではありません。だからこそ、同じ立場の仲間と率直に語り合
い、学び合える同友会の存在意義は、これまで以上に大きなもの
になっていると感じています。

福山支部では現在、共に学ぶ仲間をさらに増やすこと、そして
支部活動を通じて得た学びや気づきを、各社の経営や職場づく
りに実践していく会員を増やすことを大きな課題として取り組ん
でいます。学びは行動に移してこそ価値を持ち、実践の中でこそ
次の学びが生まれます。その循環を支部全体でつくり上げていく
ことが、今、求められているのではないのでしょうか。

同友会は、企業の成長とともに、地域社会の発展を目指す経
営者の集まりです。地域の課題を自社の課題として受け止め、仲
間とともに考え、行動する企業を一社でも増やしていくことが、
福山支部の力になると確信しています。

本年も会員の皆様と共に学び、共に行動し、次につながる一
年としてまいりましょう。皆様のご健勝とご多幸、ならびに各社の
さらなる発展を心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。



ヤマモトロックマシソン(株)
山本 将登 (G)

明けましておめでとうございます。新
春にあたり、皆さまのご多幸を心からお
祈りいたします。福山支部の皆さまには、
それぞれの感慨や抱負を胸に、新たな年
をお迎えになられたことと存じます。

昨年に続きインフレによる物価高と
少子化を主とする人材不足などの影響
で、中小企業の経営環境は厳しいものが続くものと思ってい
ます。過去20年で私たちを取り巻く経営環境は大きく変わ
りました。働きすぎと言われた日本人1人当たりの平均年間労働
時間はアメリカの約1800時間、韓国の約1900時間に対して約
1600時間になっています。有休も含めた年間休日数は約137
日となり、休日が多いといわれる欧州の国々とほぼ同じレベ
ルになっており、中小企業でも年間休日数が120日なければ
採用が難しいとまで言われています。働く時間を減らし、休み
を増やしながらかれまで以上に売り上げを伸ばして賃金を上
昇させるといった無理難題がこれからの経営に更に重くのし
かかってきているように感じています。

二極化が進んでいく日本社会の中、社員の生活を守ってい
く為、同友会3つの目的を忘れることなく、素直な気持ちで学
び、学びを実践することに努めていく所在です。

本年も引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し
上げます。



(有)山幸運輸
渡邊 龍馬 (J)

2025年運送業界は、大きな変革となりま
した。昨年から始まった「働き方の新しいルー
ル」が本格的に定着し、私たち自社の働き方
も、これまでの「無理をして運ぶ」スタイルか
ら、「効率よく、安全に運ぶ」スタイルへと大き
く進化しました。

昨年、私たちが特に力を入れているのは、荷
主様との「新しい協力関係」です。法改正により、荷主様も物流の効
率化に協力することが義務づけられました。これを受け、私たちは
現場の声を荷主様に届け、荷待ち時間の削減や積み降ろしのス
ムーズな運用を提案しています。これは単に楽をするためではなく、
私たちの大切なトラックと時間を最大限に活かし、確実に荷物
を届けるための重要な一歩です。

また、デジタル技術の活用も進んでいます。スマートフォンでの動
態管理や、AIによる最適なルート選びを取り入れたことで、ドライ
バーの皆さんの負担を減らし、安全運転に集中できる環境を整え
ています。人手不足と言われる今だからこそ、最新の技術を味方につ
けて、「ここで働いてよかった」と思える会社を目指しています。

物流は、社会を支える一番のインフラです。2026年という年は、
私たちがプロとしての誇りを持ち、よりスマートに、そしてより健康
に働ける時代の幕開けなのです。全社員が一つになって、変化を
チャンスに変え、お客様と社会に信頼される「新しい時代の運送
会社」を作って参ります。



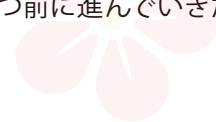
早間金属(有)
早間 一隆 (A)

この一年、自社を取り巻く環境や日々の判断と向き合う中で、経営者としての自分の立ち位置を改めて考える時間が増えました。製造業を取り巻く環境は厳しさを増して、原価、人材、先行きへの不安など、判断を先送りできない場面も多くありました。だからこそ、目の前の結果だけでなく、基盤を整えることの大切さを強く意識するようになった一年でした。

同友会では、例会や会の運営に関わる中で多くの経営

者の考え方や実践に触れ、自分の思考の癖や視野の狭さに気づかされる場面もありました。一人では気づけなかったことが、仲間と学び合う中で整理され、前向きに自分を磨いていける環境に感謝しています。

これからは、変化する環境を前提に、より覚悟を持って経営に向き合っていきたいと考えています。数字や仕組みをより明確にしつつ、人を生かす経営を実践する。その積み重ねが、会社の持続性と地域への貢献につながると思っています。同友会での学びを自社の現場や日々の経営に落とし込みながら、一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。



ペアコム(株)
梨木 彩加 (P)

当社は3月決算です。今期は目標としていた利益率には届かなかったものの、4%の黒字で着地する見込みです。厳しい経営環境の中でこの結果を得られたのは、社員一人ひとりの力に支えられたものだと感じています。

昨年、定時総会in神奈川で「労使見解」に出会い、これまでほとんど開いてこなかった「緑の本」を繰り返し読むようになりました。各地の同友会行事への参加、P地区例会や経営フォーラムでの体験報告を通じ、多くの仲間からの叱咤激励を受け、自分自身の姿勢も前向きに変わりました。

2025年6月より参加している経営基礎講座で作成してきた経営指針書もまもなく完成します。自社の進むべき方向を明確にすることができました。来期に向けて、新規取引先の開拓、既存顧客の受注増大、値上げ交渉、採用と教育などを進めてきました。社員と共に学び、共に育ち、飛躍の一年にしていきたいと思います。



(株)中弘興業
中元 幸弘 (K)

2025年は、自身の事業と真剣に向き合い、基盤づくりに力を注いだ一年でした。物流事業では収益構造や人材配置を見直し、安定した運営体制の構築に取り組みました。また新たに美容事業へも挑戦し、地域に必要とされるサービスとは何かを改めて考える機会となりました。

同友会では、例会や班活動を通じて多くの経営者の考え方や実体験に触れ、自分の経営を客観的に見直す視点を獲得することができました。特に「人を生かす経営」の重要性を強く実感した一年でもあります。

2026年は、事業の数字をより明確にし、利益と雇用を両立させた経営を実現することを目標とします。同友会活動にも主体的に関わり、学びを自社に落とし込みながら、地域に貢献できる経営者として成長していきたいと考えています。



A
地区会

A地区忘年会

■日時:12月18日(木)
■会場:星街グリル
■参加者数:26名

報告者

まるまるデザイン
藤原 寿子 氏

A地区12月例会は、1年の締めくりに今期A地区の新会員として入会されました、まるまるデザイン 藤原さんよりミニ報告をしていただき、自己紹介、自社紹介及び入会後の活動等を報告いただく例会でした。藤原さんは同友会も自分で見つけて飛込み入会され、そして入会1年で全国行事への参加や他県の例会への参加など、とても行動され、積極的に活動されていていつも勢いを感じさせていただいております。

報告の後は懇親会もセットの例会とし、食事を囲んで今年一年の良い締めくくりができたと思っております。懇親会の席では普段の活動、各業界の市場動向や業種別による会員さん同士の近況報告などで会場も盛り上がっていたと感じております。「2025年の振り返り」や「2026年度の活動の話」など各自様々なお話があったかと思います。

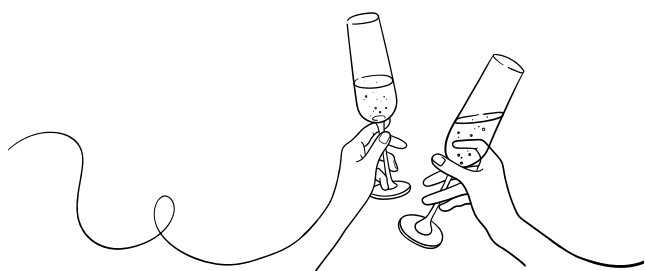
節目、節目にはこのような例会をおこなうことで、普段の例会や各グループ会の活動が更に盛り上がっていけるきっかけになればいいなと感じた例会でした。体調のすぐれない方や定例日と日程が違ったこともあり参加者が少な

かったこともありましたが、2026年もA地区の皆様で学び多い同友会活動ができればと思っております。

本年も一年ありがとうございました。



ヨシケン(株)
亀川 勲 (A)

B
地区会教育と挑戦が拓く
海外人材共存の未来

■日時:12月17日(木)
■会場:ローズコム
■参加者数:40名

報告者

福山ステンレス casting 工(株)
森川 弘基 氏



2025年度12月例会は、同友会歴18年の森川さんの体験発表でした。森川さんは10年前の経営課題が人材でした。試行錯誤していく中で、同友会でのお酒の席で「人がいない」という話から、仲間の方が親身になってくれ、その方と協力会社になることが決まりました。

協力会社の方の会社に訪れた時に「オール外国人」、かたや森川さん会社は「オール日本人」で衝撃を受けられたそうです。その出来事をきっかけに外国人実習制度を導入しました。外国人を受け入れるのには様々な問題もありました。社員が不安がる、運営コスト、初期投資などありますが挑戦を続ける森川さんは一つ一つ問題をクリアされていきます。特に初期投資の費用はビックリしました。細かいことまで赤裸々にお話をしてくれたので検討中の方はより現実を届けれたと思います。外国人を受け入れるのも労働力として受け入れるのではなく日本人の教育力のスキルアップも同時に考え取り組まれており、一つの取り組みで2個も3個も同時並行で動く仕組みを作ることは効率化になり大事な事と感じました。

協力会社とも新たなステージへ進みハンドビーム(工場名)を誕生させました。挑戦を続ける森川さんは、技術は当たり前だが「日本一カッコイイ工場」にもこだわりを持っています。写真を見ましたが確かにカッコイイし男心をくすぐるものでした。いろんな事にこだわり、挑戦を続ける森川さんが一番カッコイイと感じました。

森川さん、小組の皆さん2025年最後の例会お疲れさまでした。



野上鍼灸整骨院
尾瀬 佳史 (B)



D 地区会

俺の経営課題って本当にこれ？ ～気付くまえに採用したらこうなっちゃいました！～

■日時:12月17日(水)
■会場:市民参画センター
■参加者数:20名

報告者

(株)ホームコネクト
岩永 啓嗣 氏



D地区12月例会は開業して7年目の(株)ホームコネクトの岩永氏の発表が行われました。D地区では数年ぶりとなる社外重役会議スタイルでした。

まず司会者から、皆さんは(株)ホームコネクトの社外取締役として報告を聞き、経営課題を見出し解決のための具体的な方法を議論してくださいと説明があり、報告に聞き入っていました。

報告内容は、7期目に初めて社員採用に至ったのか、なぜ半年ほどで社員が辞めたのかの説明があり、就業規則や賃金規定もその他のマニュアルや簡単なルール、社員教育さえなかった事、給料以外に社員にかかる経費を全く考えていなかったことを話していただきました。そして自分が社員を雇うことを軽く考えていて、社員とその家族の生活に責任を持つことの意味をよくわかっていないまま採用してしまった事などの説明がありました。会社の決算書をプロジェクターに映しながら説明があり、今までまともに決算書を見ていなかった事、実際は社員を雇うだけの余力がなく会社の体力がほとんどなかったと説明があり、今後改

善していきますと報告が終わり、討論に入りました。

討論では、経営がざまくだ、よく成り立っている等の厳しい意見から始まり、まずは利益を出してから人を雇ったら？、未経験者を入れても元を取るまで3年はかかるから、他社から引き抜いてみては？などの意見、決算書の数字をしっかりと見て計画を立てないといけないなどが出ました。今回の報告をきっかけに岩永さんが何に気づき、何を改善して、どのような会社を作っていくのか期待しています。



(株)中野電機
藤井 秀明 (D)



E 地区会

年度振り返り&懇親例会

■日時:12月9日(火) ■会場:又来軒福山 ニューキャッスル店 ■参加者数:25名

12月9日、又来軒にて、E地区忘年例会を開催しました。石川地区会長体制として最後の12月例会となり、この約2年間の歩みを振り返る良い節目となりました。今回は、今年体験発表をいただいた江見さん、加藤さん、高橋さん、松枝さんにもご登壇いただき、「発表後のその後」を率直に語っていただきました。

事業環境や社内体制は各社で変化しているものの、発表を起点に自らの意思決定や行動を見つめ直し、E地区の仲間と課題を共有してグループ討論できたことが、確かな前進につながった——どの方からもその実感が語られ、副地区長として会運営に携われたことに改めて感慨を覚えました。現体制は来年3月まで、以降は新体制へ移行しますが、当日の熱量と一体感から、E地区のさらなる発展を強く確信しています。懇親会ではビンゴ大会で親睦を深め、当たり外れに一喜一憂しつつも、普段の例会とはひと味違う和やかな雰囲気が会場を包みました。

最近ご入会の皆さんにも、同友会の空気に早く慣れていただき、学びを楽しく共有していきたいと思います。

最後に、経営労働委員会「企業変革支援プログラム」回答へのご協力に心より感謝申し上げます。ご参加・ご協力くださった皆さん、ありがとうございました。



(有)アサヒフィルタ
サービス
宮崎 裕大 (E)



F 地区会

忘年例会

■日時:12月17日(水) ■会場:元町ホール ■参加者数:25名

今年を締めくくるF地区例会は、恒例の忘年例会を開催しました。親睦を深める趣向として、今回はテーブルごとに「ワードワulf(会話から少数派を当てるゲーム)」を実施。

全員の対話が不可欠なこのゲームは、まさに「懇親」の場に最適でした。当初は戸惑いの声もありましたが、いざ始めると皆様の笑顔が溢れ、会場は大いに盛り上

がりました。景品の目玉、チアフルの岡野さんによる見事な絵画も、会に華を添えてくれました。

多忙な中、当日まで試行錯誤し準備に奔走された阿吹グループ長、本当にお疲れ様でした。皆さんの協力のおかげで、心温まる素晴らしい締めくくりとなりました。



南福山サービスセンター
イトウ
伊藤 匡 (F)



G 地区会

望年例会

■日時:12月3日(水) ■会場:炭焼き炉端 だるま
■参加者数:17名

令和7年12月3日、延広町「炭焼き炉端 だるま」にて、G地区の忘年会が開催されました。忘年会とはいえ、特別なテーマがあるわけでもなく、肩肘張らない、いわば“ただの飲み会”。しかし、その「ただの飲み会」が、今年一年を締めくくるのにちょうど良い時間となりました。

当日は久しぶりに顔を合わせるメンバー、毎回おなじみのメンバー、小組会で活動を共にしているメンバーなど、総勢23名が参加。席順はくじ引きで決められ、小組会の垣根を越えてシャッフルされる形となりました。普段なかなか話す機会のない方との会話は新鮮で、仕事の話から近況まで、改めて「人が集まる場」の面白さを感じる時間でした。

中でも印象的だったのは、最近再入会されたMさんとの話。Mさんの会社での付加価値生産性金額にちょっと驚き、中小企業の平均が580万円ぐらいだと思うのですが、Mさんの会社は、1300万円とのこと、。「スゲ〜」の連発でした。一人企業や自営業なら高い付加価値生産性がでる事はあると思いますが、スタッフ10人規模の会社ではやはりすごいなと思いました。大企業並みの付加価値生産だと感じ、仕組化と営業ターゲットを明確にされているMさんのやり方が印象的でした。翌日にはさっそくアポイントを取って訪問させていただきました。こうした自然な学びが生まれるのと、パツと訪問を受け入れてくれるのが、同友会らしさの一つだと思いました。



12月例会のひとコマ

終始和気あいあいとした雰囲気、久々に会うメンバー同士が近況を語り合う姿があちこちで見られ、どこか懐かしさを感じる“わちゃわちゃ感”のある時間、G地区らしく、会の運営にあたっては、山本会長をはじめ、幹事長の浅田さん、そして当日進行を仕切ってくれた山本くにに感謝申し上げます。二次会は同じ地区の「らうんじ加山」さんへ移動し、途中から合流するメンバーも加わり、さらに濃いコミュニケーションの場となりました。

「一年お疲れ様でした」と互いに労い合い、久々に顔を合わせ、じっくり話せたこの時間は、来年につながる大切なひとときだったように思います。



(前)かの石材
狩野 寛和 (G)



司会進行:山本 裕司氏



会長挨拶:山本 将登氏 G地区 望年例会



I 地区会

寒さに負けない強靱な肉体を作り、パワフルに2026年を過ごすための

肉活体験 兼 新会員歓迎会

■日時：12月15日(月)

■会場：バンズグリル

■参加者数18名

12月例会は忘年例会として開催され、「寒さに負けない強靱な肉体を作り、パワフルに2026年を過ごすための肉活体験」をテーマに実施しました。

講演では「強靱な肉体作りの為の肉活体験とは」と題し、経営者自身の健康管理の大切さについて話がありました。日々の体調や身体づくりは、経営判断の質や行動力に直結し、継続的に経営を行っていくための土台であることを改めて学びました。



肉活体験が始まると、終始和やかな雰囲気の中、I地区らしいアットホームさを感じる時間となり、人と人とのつながりの温かさを実感しました。

そして、新会員歓迎会では、くじ引きによるテーマを用いた自己紹介



を行い、それぞれの想いや人柄に触れることで相互理解が深まりました。I地区の「I=愛」を感じる交流の場となり、笑顔と会話が絶えない忘年例会となりました。

例会を通じて、健康であること、仲間と学び合うことで、経営を続けていく上で大きな力になると再認識しました。来年もI地区らしく、学びと交流を重ねながら、それぞれの実践につなげていきたいです。



(株) ゆうゆ
山本 文子 (I)



J 地区会

忘年例会

■日時：12月20日(土)

■会場：福山城 月見櫓

■参加者数：11名

福山城月見櫓で語り合った、実り多き忘年例会

12月20日、福山城月見櫓にてJ地区忘年例会を開催しました。当日は、飲み物や食べ物を各自で持ち寄るスタイルとし、肩肘張らない和やかな雰囲気の中で、今年一年の振り返りと来年への展望について語り合いました。久しぶりに顔を合わせる会員の姿もあり、近況報告から始まり、仕事の話、地域の話、そして同友会への想いまで、話題は尽きませんでした。

2025年は、各社それぞれに課題と挑戦の多い一年だったと思います。人材不足、原材料価格の高騰、働き方の変化など、経営環境は決して楽なものではありません。しかし、その一方で、新たな取り組みに挑戦した話や、失敗から得た学び、仲間に支えられた経験など、前向きなエピソードも多く共有されました。改めて、同友会は「経営の悩みを一人で抱え込まなくてよい場所」なのだと感じさせられる時間でした。

また、来期は地区長の交代を控えており、新体制についての意見交換も行われました。これからの地区会をどのような場にしていきたいのか、学びと交流のバランスなど、活発

な議論が交わされました。

歴史ある福山城を望む月見櫓で過ごしたひとときは、忙しい日常の中で立ち止まり、仲間と未来を語る貴重な時間となりました。このつながりを力に、来年も学び合い、支え合いながら、それぞれの経営の発展に取り組んでいきたいと思ひます。



藤井製瓦工業(株)
藤井 孝浩 (J)



K 地区会

みんなで作るK地区 K地区指針検討ミーティング

■日時:12月17日(水)
■会場:事務局
■参加者数:18名

報告者

さかもと保険(株)
坂本 貴之 氏

つなぐをつくる(同)
原田 祐一郎 氏



12月例会は、現地区会長の坂本氏と次期地区会長候補の原田氏による指針検討ミーティングが開催されました。坂本氏は「会員一人ひとりの声を次期会長へ届けたい」との思いから、3つの目的の一つ『よい会社をつくろう』に焦点を当てた場となりました。それに応える形で原田氏からは、現在の同友会への率直な疑問と、次期に向けた熱いビジョンが語られました。



原田氏は、増加する小規模事業者やフリーランスにとって「雇用や理念」の前に「安定した売上」こそが切実な課題であると指摘。画一的な学びからの脱却を掲げ、各企業のフェーズに合わせた地区会運営や、全地区を巻き込むオープン例会の構想など、新しい同友会のスタイルを提示されました。

グループ討論では「自社の本当の課題」「同友会に求め

ること」をテーマに、本音の議論が交わされました。「次期会長の思うように挑戦してほしい」「どの立場であれ理念は必要」「現会員へのフォローも充実させてほしい」など、多岐にわたる意見が出されました。

立場や価値観の違いを認め合い、援けあう。同友会の「自主・民主・連帯」の精神を改めて実感するとともに、私としても、変化を恐れず地域に必要とされる存在となるべく邁進したいと強く感じる例会となりました。



民間救急 999
大原 知 (K)



P 地区会

転機はチャンス、課題は希望 ～最終章に向けた経営の再構築～

■日時:12月18日(木)
■会場:ローズコム
■参加者数:19名

報告者

山陽パッケージシステム(株)
小林 大敏 氏



P地区12月例会は、同友会歴20年となる山陽パッケージシステム(株) 小林氏より「転機はチャンス、課題は希望」～最終章に向けた経営の再構築～をテーマに体験発表をいただきました。売上15億超へ成長してきた歩みは決して順風満帆ではなく、事業転換、拠点展開、投資、仕組みづくりなど、その都度壁にぶつかりながらも課題から目を背けず、次の成長につなげてこられた経緯が語られました。転機として、強化段ボール「トリプルウォール」導入による顧客層の変化、生産管理の見直し、化成品事業への本格参入、展示会出展、新工場・新拠点の開設などが挙げられ、経営判断を支えた具体的な狙いと数字も示されました。



一方で現在の最大課題として、品目・拠点の増加に対し、生産計画、工程管理、図面・情報の最新版管理、標準時間の設定など「製造の土台」が現状に追いついておらず、再構築が急務であることが率直に共有されました。決算書だけでは不具合の原因は見えないため、現場の見える化と仕組み化で早期に問題

を捉える必要がある、という言葉は参加者に強く刺さりました。

討論では「あなたの会社の転機と課題は」をテーマに、各社の過去の転機、現在の課題、未来への打ち手を討論し、課題を直視すること自体が前進である点、目標と現状把握の両輪が重要である点を再確認しました。



小林さん、体験発表ありがとうございました。今まさに抱えている悩みや迷いまで率直にお話していただき、きれいな成功談ではなく、「今が一番しんどい」という本音を共有していただいたからこそ、多くの参加者が自分の経営を重ねて考える時間になりました。貴重な気づきと前に進む勇気をいただき、今後も立ち止まらず会社の成長と自分の成長へと繋げていきたいと思えます。

私も経営者として、また1人の人間として、小林氏の発表の最後に仰られていた「感謝」の気持ちを忘れずこれからも生きていこうと思いました。



(有)いしだクリーニング
石田 明(P)

S 地区会

健康経営と行動力

■日時:12月17日(水)
■会場:ジーベックホール
■参加者数:26名

報告者

(株) Zen
前岡 範行 氏



身体の健康も大事だが、会社の状態が健康じゃないと経営に支障がでてきてしまいます。P/LよりB/Sが大切ではないかと前岡氏。つまり、キャッシュリッチにする事で会社の健康状態は良くなる。具体的に言うと、資金繰りからの脱却、社員の給料アップ、設備の導入など計画的に建設的に経営ができるということです。それを実現するためには売上を取りにいかないといけない。しかし、資料ができていない、アポイントが取れないといったできない理由を作ってしまう、やらないといけないと分かっている先延ばしにしていないでしょうか？

そこで前岡氏が一喝。「つべこべ言わずに行け」百発百中は誰もできない。イチローでも3割です。つまり、断られることは当たり前で、とにかく結果が出るまで継続してやり続ける事が大切だということです。言い方を変えれば、「PDCAをまわす」ということです。新規営業に行く→門前払いされた、



新規営業に行く→少し話を聞いてもらえた。実行した後で振り返ってみて、どうしてそうなったのか、次はどうしたらいいのかを考えて行動する。その繰り返しで、自然と打率は上がっていくものだと言前岡氏は言う。先輩方に相談して、これやった方がいいよって言われた事は、素直にやる。そして報告する。そしてまた相談してアドバイスをもらって素直にやり続ける。これもまたPDCAである。

自社をよくするために、まずは同友会の仲間に相談して行動していく。改めて同友会の利用の仕方を考えるいい機会になりました。ありがとうございました。



高橋工芸(株)
高橋 和希 (S)



想いの承継と理念の継承 ～班活動が動進(心)の原点～

■日時:12月1日(月)
■会場:ローズコム
■参加者数:28名

報告者

田坂京華園(有)
田坂 寿臣 氏



福山支部青年部12月例会は、2班が担当させていただきました。今回の例会は、企業の後継者としての視点や想いを深掘りする内容で、非常に多くの学びがありました。

田坂氏は、後継者として自社の現状に対して初めは不満を抱えていたことを率直に共有されました。自分であればもっとこうしたい、という意見もありましたが、班メンバーと何度も集まって行うディスカッションを通じて、次第に自分の考えが変わっていったとの事。さらに今回の例会づくりでは、田坂氏の父親でもある現社長様との意見交換の場として食事会も行いました。全員でお父様のお話を伺う事で、会社のこれまでの歴史や価値観、後継者である田坂氏に対しての思いなどを聞くことが出来ました。社長の話を聞くことで、後継者としての本質から目を背けていたことや、発表の為の発表づくりをしようとしていた自分に気づいたそうです。報告の最後では、田坂氏が今後の目標と覚悟を宣言されていました。

また、グループ討論では、社長と後継者の間で実際にありそうな話を基に、「あなたが社長なら、また後継者ならど

うしますか？」というテーマで話し合いました。参加者がそれぞれの立場になって考える事ができ、自分自身の行動を見直す有意義な時間となりました。



(株)Bright Future
阿吹拓哉 (F)



第4講 経営方針Part 3

■日時：12月4日(木) ■会場：事務局・Zoom・サテライト
■参加者数：31名

報告者 受講生

「経営方針の立て方を学ぼう」というテーマのもと、これまで経営理念、10年ビジョン、SWOT分析、クロスSWOT分析を学び、それらを踏まえて作成した経営方針の発表を行いました。

各受講生がそれぞれ完成させた経営方針を発表し、サポーターからの助言やフォローを受けながら、内容をさらにブラッシュアップすることができたと思います。すでに明確な経営方針を完成させている方もいれば、まだ自身の思いにブレがあり悩まれている方など、状況はさまざまでした。

その中でも、事業承継について悩まれている方に対し、「身内での承継か、社員への承継かを明確に決めることが重要である」という、実体験に基づいた具体的なアドバイスが印象的でした。また、目標数値が明確に設定されている経営方針も多く、全体として非常にレベルの高い仕上がりであったと感じました。

他業種の経営方針や考え方を聞くことで、新たな視点で物事を捉えることができ、自社に活かせるヒントも数多く得ることができました。特に事業承継については、これまで深く考える機会がありませんでしたが、自社においても避けて

通れない重要な経営課題であると気づくことができ、大変有意義な学びとなりました。



(株)ソーテックス
コーポレーション
小野 貴正 (D)



求人社員教育 委員会

Bingo job lab

■日時：12月9日(火) ■参加者数：企業14社 学生22名 ■会場：福山大学

「Bingo job lab」は、就職を控えた学生が、履歴書と就職面接について、同友会会員である経営者からアドバイスをもらうという、福山大学のカリキュラムです。学生が社会人デビューへ向けて期待と不安を抱えて参加してきます。

模擬面接で私に対応した学生たちは、面接対策をしっかりと準備してきていて、自己アピールの時間では覚えてきたことを思い出しながらかけている印象を受けました。経営者側から「自分の言葉で話してくれたほうがよい」という声が出ていました。同友会会員企業は学生の「いいところを見つけよう」として、学生側は大企業向けに「悪いところが見つからないよう」にしている、姿勢の違いがわかるイベントでした。

就職に関する学生の疑問や悩みをフリートークする場面

でも、これまでの経験や選択学科が就職に「不利にならないか」ということを心配する声が多かったように思います。経営者側は、学生の経験から、「どういう人か、どんな仕事に向いているか」を判断しようとしているわけで、その意識の違いが伝わることも、参加した学生にこのカリキュラムの最大の価値だろうと思えました。

同友会会員にとっては、就職を前にした若者がどういう不安を抱えているか、仕事というものをどうとらえているか、さまざまな様子を知ることができる良い機会です。新卒学生を採用する予定がない方も参加してみると得るものが多いのではないのでしょうか。



池永経営(株)
田中 秀穂 (K)



■日時:12月5日(金) ■参加者数:33社 ■会場:iti SETOUCHI

「地元の中小企業を知ってもらうことで、将来的に地元に戻り、地元で働く若者を育てる」という目的のもと、地元企業ガイダンスが開催されました。例年は高校内での開催でしたが、今回は初めて高校外の会場で実施され、企業側にとっても慣れない環境の中での会場準備となりました。

学生に伝えたい内容として、

- ・企業概要
- ・就職するために必要な資格・技能
- ・就職条件
- ・社会人として身に付けておくべきこと

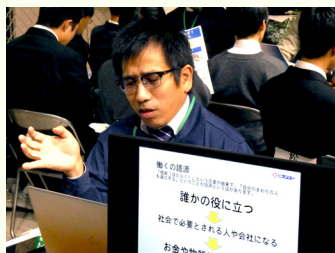
について、1講義20分×3講義を行いました。

一方で反省点として、各社のブース間隔が狭く、学生に声が届きにくかった点など、運営面での課題も見受けられました。そのような中でも、講義と講義の合間の時間を活用し、学生に積極的に声をかけて率直な意見を聞いている企業や、実際に少し体を動かす体験を取り入れるなど、各社が工夫を凝らしており、学生も真剣な表情で話を聞いている様子が印象的でした。

弊社は今回が初参加でしたが、今後高卒採用に取り組んでいくにあたり、自社に何が足りていないのかを改めて考える非常に良い機会となりました。高卒採用を実現するための体制づくりや社内環境の整備など、今後も同友会で学びながら、実践を重ねていく必要性を強く感じました。



(株)ソーテックス
コーポレーション
小野 貴正 (D)



政策 委員会

日本政策金融公庫 懇談会

■日時:12月2日(火) ■参加者数:17名
■会場:事務局

講師

(株)日本政策金融公庫 福山支店
林 賢一郎 氏

12月は(株)日本政策金融公庫さんの融資について学びました。政策委員会の勉強会としては17名という参加者多めの回となり皆さんにとって興味深いテーマだったのだと思います。ちなみに私個人は創業期～軌道に乗るまでの間と、コロナの時期に大変お世話になりました。



さて内容ですが、まず公庫さんは民間の金融機関を補完する役割を担っているとのこと、メイン銀行さんで融資審査が厳しかったという人向けだそうです。そういった役割分担がある中で公庫さんの融資商品は「本業支援」「創業支援」「事業承継」「事業再生」「ソーシャルビジネス(地域課題・社会課題解決型)」「海外展開」「教育資金」など多岐にわたっていました。本業支援はメイン銀行さんからの理解を得やすい印象ですが、その他はなかなか難しそうで、そこに公庫さんの需要がありそうですね!

公庫さんから融資を受けるにあたっては「経営改善計画

書」を策定する必要がありますが、経営指針書に似ているので我々同友会の会員であれば比較的簡単に作れると思いました。それよりも改善が必要な項目に関して、手厚いコンサルを受けられるという点が特殊だと思いました。例えば「人材不足が解消されれば黒字化出来るのに」という企業さんであれば「人材不足解消には採用・定着というポイントがあり、それぞれのノウハウの概要はこんな感じで、副業人材を活用すると上手に進みますよ。また省力化に取り組むことでも人材不足は解消・軽減される場合があるので、手法はこんなのが効果的です」といった具合です。

他には値上げ・M&Aの手引き、賃上げすると金利が安くなる特例もありと、個人的には少額でもいいので一度お金を借りに行って色々アドバイスを受けた方が経営の安定成長につながりそうだなと思いました。

最後に、(株)日本政策金融公庫さんを上手に活用する事で、皆さんがより良い状況になることを祈念しまして勉強会の報告とさせていただきます。



(株)タカハシ
高橋 克直 (I)

バリアフリー委員会

バリアフリー委員会 勉強会

■日時：12月10日（水）
■会場：事務局・Zoom
■参加者数：24名

報告者

(株) Saaave
星山 忠俊 氏 (埼玉同友会)



バリアフリー委員会では、埼玉同友会の(株)Saaave 代表取締役会長 星山忠俊氏をお招きし、勉強会が行われました。

星山氏は、長年にわたり少年院や刑務所から出所者の雇用受け入れを実践されています。当初は、人手不足における人材確保がスタートでしたが、次第に目的は変わっていきます。受け入れ態勢を整え、出所者と関わる中で、彼らは加害者であると同時に家庭環境や貧困など、さまざまな問題を抱える被害者でもあることに気づかれたとのこと。とは言え、短期間での離職が多いのも事実ですが、現在の目的は、辞めないことではなく、彼らが「再犯しないこと」と星山氏は断言されます。

しかしながら、実際に現場で作業を共にする社員の協力を得るために苦労されたことは想像に難くありません。

<誰もが共生できる社会>は理想ではありますが、それを実践することは容易なことではありません。現在は、長期にわたり2名の社員を雇用されており、来年には更に1名の受け入れ予定とのこと。

星山氏の行動力と愛情深さ、持ち前の明るく楽しいお話に参加者一同引き込まれました。なお、長期の雇用を継続して

いくための社員教育の秘訣は、「役割を与えること」だそうです。人は誰でも期待されるとそれに応えたいと思うもの。「任せる」ことで人は成長していくのでしょうか。

最後に、参加者より「なぜそこまでできるのか。何をモチベーションにしているのか?」という質問がありました。「自分の人生の最後に、よく生きた!と思いたいから」と言われた星山氏の人間力を感じた勉強会となりました。



M Support(株)
前田 明子 (G)



環境経営委員会

環境保全型企业づくり × 環境保全型地域づくり

■日時：12月12日（金）
■会場：事務局・Zoom
■参加者数：12名

報告者

サステナブルパートナー
居木 義典 氏 (徳島同友会)



去る12月12日(金)、環境保全型企业づくり×環境保全型地域づくりと題し、徳島同友会 居木氏に講師を務めていただき勉強会を開催しました。

中同協の議案書には2025年度の課題と活動方針として、「環境経営を実践し、強靱な企業づくりをめざしましょう。環境経営の実践には①経営指針に環境方針・宣言を入れること。と明記されています。環境宣言とは「理念」のことで、環境方針とは「具体的な行動計画」になります。経営労働委員会勉強会と一緒で、様々な価値観を持った社員さんと同じベクトルを合わせることが大事で、なるべくわかりやすい言葉にすると理解されやすいとのことでした。作成手順は以下のとおりです。

- ① 自社が取り組める社会課題(社会貢献)は何か
- ② 自社の商品やサービスでその社会課題をどのように解決できるか
- ③ 社会課題を解決するためのメッセージを環境宣言にする
弊社保険事業にあてはめると、
 - ① 契約時等に必要となる紙資料(印刷物)の削減
 - ② 契約手続き等を電子化することで印刷物を削減することができます。
削減することで紙の原料となる森林を保護できます。
 - ③ 当社は地球環境保護を目的に、保険手続き時に必要となる紙資

料を削減し、業務効率が向上できる手段を推奨することで、地球環境保護につとめます。

このように環境宣言まで作成することができました。出席された他の会員さんから、参考になる環境宣言があり、短時間ではありましたが、真剣に自社の社会課題と向き合うことができました。

我々中小企業の企業活動の根底には、日本の経済環境があり、その上に地域経済の環境があります。地域で企業活動している中小企業は、まずは地域に目を向けていただき、地域の社会課題は何なのか考えることをおすすめします。その中で、自社で解決できることを最初の一步として行動していけば、社会はより良くなるはず。大変学びの多い委員会となりました。



さかもと保険(株)
坂本 貴之 (K)



■日時:12月11日(木)
■会場:事務局
■参加者数:15名

講師

JICA中国
総務課 兼 市民参加協力課
東 太郎 氏



12月の地域内連携推進委員会では、7月に開催したふくやま企業の夏祭りを一緒に盛り上げてくださったJICA中国から東氏を講師にお招きし、勉強会を開催しました。

冒頭の馬屋原委員長のあいさつで、そもそも皆さんJICAをご存じですか?という問いに対して参加者の殆どが手を上げないという状況でした。かくいう私も名前ぐらいで活動内容というのはほぼ知りませんでした。

JICAとは独立行政法人国際協力機構の略で、開発途上国に対して民間連携(優れた技術や製品を通じた協力)、市民参加協力(日本の市民による協力)、国際緊急援助(緊急時の人道的協力)など国際協力活動を幅広く行っている機関です。なかでも中小企業・SDGsビジネス支援事業として開発途上国に対するビジネスの立ち上げ(JICA Biz)から拡大につなげる支援を行っており、ニーズ確認調査(上限1,500万円の資金援助)とビジネス化実証事業(上限4,000万円の資金援助)を専門コンサルタントの伴走のもと、支援を行っていたそうです。

今回の勉強会で知ったんですが、発展途上国に流入する資金のうち民間資金がODAをはるかに上回っているという

こと、そしてその8割が中小企業ということです。中小企業は海外に対する意識が薄い印象がありましたが、果てしなく大きな可能性を感じさせる良い勉強会でした。JICA中国では事前相談等にも柔軟に対応してくださるそうなので、興味のある方は是非直接問い合わせをしていただいて大きなビジネスチャンスを手探りでみてはいかがでしょうか!



富士建設(株)
笹井 正純 (B)



どういう? グルメ

肉活食堂 バンズグリル



和牛グリル定食100g 2,700円+税 ※写真は150g



看板メニューは和牛のグリルです。駐車場は10台分ほどあり店内の席は20席。テーブルとテーブルの間隔は広め。店内は禁煙です。とにかく旨い、美味しいお肉を食べたい!その為、お肉の質はもちろんですが、塩、ソースの調味料を全国から取り寄せ、日々探求しております。おすすめは、カンホアの塩とワサビです。抜群にお肉を引き立てます!



住 福山市松永町 5-16-11
営 昼11:00-14:00 夜17:00-21:00
休 火曜日+不定休

地元から始まった、業態転換という選択



肉活食堂 バンズグリル
小川 尚範 (I地区会)

松永が地元で、もともと物件もありました。「どうせやるなら地元でやりたい」その思いから、この店はスタートしています。

開業当初の業態はカフェ。しかし営業を続ける中で、カフェ時代に特に支持されていたメニューをあらためて分析し、「肉を主軸にした業態なら勝負できる」と判断しました。パスタのイメージが強かっただけに、業態転換は周囲を驚かせる決断でもありました。

集客面で大きな変化をもたらしたのが看板です。当初は文字だけのシンプルな看板でしたが、肉の写真を取り入れたことで来店数が増加。結果として客単価の向上にもつながりました。「伝え方ひとつで、お客様の反応はここまで変わる」。その実感が、経営視点を一段引き上げたといいます。

転機となったのは、約5年前に参加した経営労働委員会でのSWOT分析でした。そこで浮き彫りになった弱みは、「満席になると店が回らなくなる」こと。売上以前に、現場の設計そのものに課題があると気づかされた瞬間でした。

そこから、アルバイトスタッフでも対応できるオペレーションへと見直しを進め、メニュー構成も再設計。「満席にできること」を前提にした店づくりへと舵を切りました。商材を「肉」に絞ったことで、業態の横展開がしやすくなった点も、この判断を後押ししています。

業態転換は2018年。その後のコロナ禍ではテイクアウトに取り組み、厳しい状況の中でも店を守ることができました。さらに、店舗アプリを導入し顧客リストを構築。リピート率の向上を実現し、アプリをきっかけにお弁当販売へと展開しました。現在はLINEとメールを活用し、顧客との接点を維持しています。これらの取り組みの多くは、同業者の成功事例を研究し、取り入れたものです。

「なぜできないのか」と問われることがあります。その答えは意外なほどシンプルです。——困っていないから。本当に動き出すのは、困ったとき。課題に直面し、それを自分ごととして受け止めた瞬間から、経営は動き始めるのだと語ります。

お店訪問

STRAHL(シュトラール)山本 一恵氏(F地区)

ラウンジ STRAHLは早いもので6年目を迎える事ができ支えてくださった皆様に感謝しております!今後はますます大人のための上質な癒し空間を目指していきたいと思っております!笑笑!

個性強めのママと明るいスタッフがお迎えします。心地よいお酒と会話とともに、日常を忘れる特別なひとときをお楽しみください。



お酒の飲めない私が印刷関連の仲間に連れられ、行ったお店で初めて山本さんにお会いしたのは20年くらい前のことだったと思います。その時は、仲間とともに楽しいひと時を過ごさせて頂いた記憶があります。

ある日、支部例会で偶然の再会となり、同友会への入会を知り、グループ討論では、経営者としての隠れた一面を知ることができました。お店での雰囲気と異なり、真剣に経営を考えられている姿に感動しました。そんな山本さんが、お客様にとって幸運の光となれる場所でありたいと、願いを込めて名付けられた“STRAHL”(シュトラール)。歌の上手な山本さんは、NHKの“のど自慢”出場でキンコンカンと鐘を鳴らされたそうで、マイク自慢の強者は、ぜひ一度挑戦してみても…勝利したらサプライズなご褒美があるかも?

今後の同友会活動に期待してご紹介させていただきます。



夢工房 桑和
浅田 英史(G)



福山市昭和町のラウンジ「STRAHL(シュトラール)」は開店6年目。ママとお姉様、笑顔いっぱいのスタッフが迎える温かな空間で、特にママの歌声には癒されること間違いなし!カウンター10席、ボックス7席の程よい広さに、カラオケ好きが自然と集い、同友会仲間や同級生、長年の常連が交わる憩いの場となっている。人柄が人を呼ぶ、まさに“出会いの場のお店”です。



吉田労務事務所
吉田 健一(F)

広島県福山市昭和町4-18 6番館4F
TEL 084-982-6787
営業時間 20:00~24:00
定休日 日曜、祝日

1) 討議事項

問題提起「年末大放談! (ぶっちゃけろ!) 同友会ってどういう会?」【豊田支部長】

- ・ 本日は「大放談」、言いたいことを言う討議事項です。来期の県スローガンは「学びを实践! 未来を創ろう」でほぼ決まりました。未来には同友会や会社など、いろんな意味を含んでいますが、今回は所属をしている地区会や委員会がもっと良くなるために、討論をお願いします。発言内容について言及することはありません。「支部長がいけない!」「〇〇が良くない」など、言いたいことを言っていただけで結構です。皆さんのご意見をこれから繋げたいと考えています。
- ・ 本日はグループ討論のメモ用紙を配布しています。各グループで記録を決め、ご提出ください。

※「学びを实践! 未来を創ろう～あなたの思う同友会の理想と現実～」というテーマでグループ討論を行いました。内容は省略いたします。

■まとめ【豊田支部長】

- ・ 熱心かつ、活発な討議をありがとうございました。毎回、難しいテーマでも前向きに議論していただき、本当に改めて頼もしい仲間と一緒に理事をしていると感謝しています。今回のご意見は今後のビジョンや方針にも加えていきます。
- ・ 役の「やらされ感」や組織の大きさによって関わりの薄いや行儀があると聞きました。このあたりがまとまっていれば、みんなが関わってよかった会になると思いました。
- ・ 私も同友会に入会して27年になりますが、今春の支部総会では、初めて開会まで出席者数をドキドキしながら見ていました。その立場にならないとわからないということを経験しました。縁あって支部理事をされている皆さんにも初めて見えた景色があると思います。その景色を共有していただければ、さらによい会になると思いますので、今後ともよろしくをお願いします。

【報告・連絡】

2) 委員会

①総務委員会 【田中委員長】

- ・ 1/26(月)の全地区合同役員会です。現在の申込状況を見て、当事者の参加表明がない、人数が寂しい地区が3地区あります。面白い内容になると思っていますので、同じ地区の応援の意味も込めて、ご参加をお願いします。

②組織委員会 【杉田委員長】

- ・ 1/23(金)に異業種交流会には現在6名の申込です。SNSで発信していますが、約1,000人の閲覧で1名申込の傾向です。引き続き、拡散をお願いします。
- ・ 2/6(金)の新会員オリエンテーションは、役員研修大学の特別講(全県女性部交流会)と同日です。それぞれの役割に応じてご参加ください。

③企画委員会 【内海委員長】

- ・ 3月支部例会「経営者大賞」は、福山中スズキ(株)の塚本さん(B地区)、(株)ソーテックスコーポレーションの小野さん(D地区)、(株)せとうちの三上さん(F地区)、(株)キッカワの守本さん(S地区)が選ばれました。今回は4名の報告のため、開会時間等は企画委員会で検討します。4名の方は新年互礼会でご紹介し、PRLしていただきます。支部例会の発表順も互礼会で決めます。ご本人の参加が難しい場合は、地区で代理をお願いします。

④広報委員会 【春名委員長】

- ・ SNSの活用についてです。同友会のアカウントを使ったSNSが乗っ取りや凍結のケースの他、懇親中心や会員から政治色が強めの配信があったりと、ややナーバスになっています。今後、コミュニケーションとコンセンサスを丁寧に取っていきます。
- ・ BATPOSTは記事が締め切りまでに集まらないことがあります。理事の皆さんもフォローしていただければ助かります。

⑤経営労働委員会 【高山委員長】

- ・ 1/8(木)の経営基礎講座から財務編がスタートします。数字が苦手な方のスポット参加も可能です。各地区で困っている方にお誘いください。

⑥求人社員教育委員会 【森川社員教育委員長】

- ・ 4月の新入社員研修は福山会場単独開催をめざしています。人数によっては単独開催が難しくなります。ぜひ新卒採用をめざしてください。
- ・ 県委員会では1/26に埼玉同友会の横山由紀子さんをお呼びしたオープン勉強会を開催します。ご参加ください。

⑦政策委員会 【代/事務局】

- ・ 1/13(火)から1/30(金)まで今年度第2回目の政策アンケートを行います。今回は70%の目標に対し、65%の回答率でした。今回は65%を目標にします。アンケートは単に回答率の数字を追っているわけではありません。半年に一度、自社の状況を把握する定期診断であり、会員とのコミュニケーションのツールの役割もあります。
- ・ 今までのアンケートは終盤に個別のアプローチを行って目標達成をめざしていましたが、今回は最初から個別連絡を行うスタートダッシュ型を考えています。ご協力をお願いします。

⑧環境経営委員会 【高橋委員長】

- ・ 2/13(金)は(株)カワムラ機工の河村さんをお招きして、DXの成功事例を学びます。河村さんは、SDGsやエネルギーシフトに取り組まれ、中小企業専用の認証も取得されています。自社商品のブランド化にも成功され、様々な補助金の審査も通りやすくなったと聞いています。ご参加よろしくお願いします。

4) 地区会・部会

※内容省略いたします。

5) 県関係の報告

①県理事会の報告 【豊田支部長】

- ・ 今年の全国経営研究会は、3月に岩手で行います。距離はありますが、参加して損はないと思います。
- ・ 政治家と同友会の関わり方の規定、財務規定、専務理事に関する規定が承認されました。政治家との関係では、首長(県知事・市長など)を講師としてお招きするのは可能ですが、政治家への講演依頼はNGとなりました。今後は規定に沿って進めていきます。
- ・ 来期の会費値上げなしの予算を組んでいます。支部活動費の減額はない方向ですが、正しい道は議論が必要がありそうです。
- ・ 県理事会後に情勢の勉強会がありました。講師は北海学園大学の大貝先生でした。中小企業、地域振興条例に基づいた地域振興の事例を紹介いただきました。地域に対するビジョンがないままだと、自社の視点にとどまった地域振興になりがち、というお話でした。

②来春の県総会について 【藤井友総会フォーラム実行委員】

- ・ 2026年5月26日(火)に県総会があります。総会の部のあとは、3つの分科会を行います。分科会の1つは、企業づくりのテーマで、末広B地区会長が報告者を務めます。各地区から実行委員を出していただき、福山支部全体で盛り上げて、県全体のいい学びになるようにしましょう。

6) その他の報告

①支部活動費の執行状況 【田中総務委員長】

- ・ 11月末で執行の目安66.7%に対し、55.3%の執行状況です。目安より低い執行です。
- ・ 地域内連携推進委員会は、県委員会から「ふくやま企業の夏祭り」の補助が入る予定です。12月末には執行予定です。

②支部理事増強の進捗 【藤井友副支部長】

- ・ 討議事項でも意見が出ましたが、地区会の温度差の要因の一つが新しい会員がいるかどうかではないでしょうか。まずは理事が自分の地区に新しい風を巻き起こし、次につなげる風習ができれば、組織委員長が発信しなくても会員が増える福山支部になると思います。

(杉田委員長の事例報告)

- ・ 紹介した3名の内の2名は、自社の新しい取引先です。ご夫婦で経営をされていて、勉強会にも参加されているようだったのでお誘いしました。もう1名は会員からの依頼で、起業のお祝いのお花を持って行った先の方です。お話をして、一緒に勉強したいと思ったので同友会にお誘いしました。
- ・ 振り返ってみると、同友会にお誘いすることが頭をよぎったから動けたのだと思います。支部理事の皆さんも、地区会で仲間づくりの意義が共有できると、「この人に声をかけよう」と思えると思います。ただ、まずは声をかけたことに対して、自分に丸を付けて動いてもらえたらと思います。

③総会議案検討委員会の報告 【豊田支部長】

- ・ 当日資料の議事録をご覧ください。総括のポイントとして「支部と地区の距離感がある」「講師例会への依存が高い」「体験報告の充実」「オブザーバー参加は多いが、入会につながりづらい」「入会後のフォロー」などが出ています。
- ・ 来期の県のスローガンは「学びを实践! 未来を創ろう」にほぼ決まりました。福山支部のスローガンは、次期支部長とも相談しながら検討していきます。
- ・ 重要方針は、企業づくり・同友会づくり・地域づくりを継続します。これは優先順位ではなく同列という意識を高めていくようにします。
- ・ 議案書は県の予算次第で完全ペーパーレス化になる方向です。議案書を見る機会が少なくなる懸念もあります。
- ・ 来月の支部理事会では、大まかな案を作って皆さんにもご意見いただきます。

④次年度の予算請求

- ・ 総務委員会で次年度の予算準備時の時期になりました。委員長の皆さんは活動方針を踏まえて、2026年度の予算請求をお願いします。地区会、部会は計算式に基づいて活動費が執行されるため提出は不要です。予算請求用紙は明日、事務局からメールでお送りします。各委員会、担当事務局とご相談の上、期日までに提出ください。
- ・ 各委員会の予算は総務委員会で調整を行います。

7) 【承認事項】

①経営フォーラムバス代補助の予備費執行 【田中総務委員長】

- ・ 10月の経営フォーラムのバス代補助についてです。当初¥35,270の予備費執行で理事会に提案していましたが、S地区を中心に大変多くの方に利用いただきました。
- ・ その結果、予備費執行額は¥5,380となりました。ご承認をお願いします。⇒承認されました。

②入退会の承認

■入会希望者(1名)

(株)萌和 代表取締役 青木美奈(K)

事業概要:訪問介護とケアマネ支援で、在宅生活を幅広くサポートする事業所です

■退会希望者(1名)

治らない慢性痛専門科ココナラ 井手ノ上 大介(A)

■備考

長期滞納による会員資格の喪失1名(12月県理事会で承認)

以上承認されました。

これにより福山支部の会員数は654名になりました。

(文責 事務局 本田)

2 月行事案内

<予告>

福山 3 月支部例会 “輝け！” 経営者大賞 2025

全体行事

【発表者】
福山中央スズキ (株) 塚本 崇義 氏(B)
(株) ソーテックスコーポレーション 小野 貴正 氏(D)
(株) せとうち 三上 彩香 氏(F)
(有) キッカワ 守本 貞江 氏(S)

日時：2026 年 3 月 11 日 (水)
開会 18 時 30 分～ 21 時 20 分 (予定)
会場：福山ニューキャッスルホテル
会費：無料

申込締切：3 月 4 日 (水)

3 月支部例会は、福山支部が 2 年に一度開催している
「“輝け！” 経営者大賞」です。昨年、各地区会から推薦
いただいた候補者を正副支部長で厳正に審査し、今年度
の発表者 4 名が決定いたしました。支部例会当日はこの
4 名の報告を行い、大賞を決定します。

日	曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1	日			
2	月		青年部	
3	火		政策	
4	水		企画	
5	木	基礎講座	経営労働	
6	金	新会員オリテ	組織	K
7	土			
8	日			
9	月		バリアフリー	
10	火		求人社員教育	E,J
11	水			
12	木		地域内連携推進	
13	金		環境経営	
14	土	地域づくりフォーラム		
15	日			
16	月	県理事会		B,G,I
17	火	正副		ダイア
18	水			A,D,F,S
19	木			P
20	金			
21	土			
22	日			
23	月			
24	火		総務、広報	
25	水	支部理事会		
26	木			
27	金	役員研修大学		
28	土			

経営課題は何ですか？
～みんなで大討論会～

日時：2 月 18 日 (水) 19 時 00 分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：本年度入会の新会員さん
経営課題 採用・事業承継・付加価値向上・人材育成な
どテーマをいくつか決め、参加者全員で共通テーマにつ
いて意見交換を行います。

B 地区 2 月例会

日時：2 月 16 日 (月) 19 時 00 分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(株) EVER BLUE 村上 達則 氏
村上氏は独立して訪問看護ステーションを立ち上げて 1
年が過ぎたところです。そんな村上氏の今後の夢を発表し
てもらい参加者にとっても活力になる例会にします。

同友会活用塾 # 21
～同友会行事を活用しよう～

日時：2 月 18 日 (水) 19 時 00 分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：山西 健三 氏、内海 陽平 氏
県総会・経営フォーラム・支部例会の意義などを話して
いただき、関わって変化した事・参加して学びを自社にど
の様に実践されてきたかを報告していただきます。

E 地区 2 月合同例会

日時：2 月 10 日 (火) 19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
講師：M Support (株) 前田 明子 氏
「相手への配慮」や「基本的なマナー」は、社内外の信
頼関係を築くうえで欠かせない要素です。他地区の会員と
も交流を深めながら、気づきをえられる例会をめざします。

企業を守る労務対策

日時：2 月 18 日 (水) 19 時 00 分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
講師：吉田労務事務所 吉田 健一 氏
会社業種に関わらず発生する労務トラブルと、会
社を守るために必要な基礎知識について、事前に頂
いた質問疑問を解説いただきます。

事業承継とは、会社の文化の承継です
～明文化できない“らしさ”をどう引き継ぎ、どう変えるか？

日時：2 月 16 日 (月) 19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：(株) くるま生活 井上 康一 氏
井上氏の報告から、「自社の“らしさ”」の核を学び、
未来に向け守り抜くべきものと、変革すべきものを
見極める、熱量の高い視座を獲得します。

見えない景色が見えた
経営指針書との出会い

日時：2 月 16 日 (月) 19 時 00 分開会
会場：西部市民センター 会費：無料
報告者：Kyykx.s Product 佐藤 佑樹 氏
はじめての経営指針書づくりの学びの共有、経営
指針書づくりの推進活動を行います。

J 地区 2 月合同例会

日時：2 月 10 日 (火) 19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
講師：M Support (株) 前田 明子 氏
「相手への配慮」や「基本的なマナー」は、社内外の信
頼関係を築くうえで欠かせない要素です。他地区の会員と
も交流を深めながら、気づきをえられる例会をめざします。

共創の研究 組織委員会とのコラボ
～地区例会として新入会員オリエンテーションを運営する～

日時：2 月 6 日 (金) 19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
本グループ最後の活動として、組織委員会と共同で新入
会員オリエンテーションを運営することに取り組みます。
企画段階から協力をはじめ当日運営を K 地区の会員で実行
いたします。

地区会活動と経営は不離一体？
～事務局から見た同友会～

日時：2 月 19 日 (木) 19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
講師：同友会事務局 本田 美美 氏
我々が日頃活動してる同友会の運営や学びは、同
友会の目的に沿っているのか？正しいのか？改めて
同友会活動とはを地区会で学びを深める例会です。

お客様と社員の笑顔のために、10 年後の魅力ある会社へ
～現在とこれから～

日時：2 月 18 日 (水) 18 時 30 分開会
会場：ジーベックホール 会費：無料
報告者：日山塗装(株) 日山 千代 氏
同友会入会をキッカケに自社分析と戦略考え、ま
た 10 年後の目標に対しどのように戦略を実施する
か、また、これまでの実績についての発表です。

総務	日時：2 月 24 日 (火) 19 時 00 分開会 会場：ローズコム 会費：無料 議題：支部活動費の執行状況の確認 次年度の予算準備
組織	日時：2 月 6 日 (金) 18 時 00 分開会 会場：ローズコム 会費：無料 議題：仲間づくりの進捗確認 トムソーヤの大冒険振り返り ※ 19:00 より新会員オリエンテーションを 行います。
企画	日時：2 月 4 日 (水) 19 時 00 分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：新春講演会・新年互礼会の総括 「経営者大賞」について 今期の振り返り、次年度の計画
広報	日時：2 月 24 日 (火) 19 時 00 分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：支部報 2 月号について 支部報 3 ～ 4 月号の企画編集 今後の支部報について
経営労働	全県共通経営指針基礎講座 「第 5 講 財務計画 Part2」 日時：2 月 5 日 (木) 19 時 00 分開会 会場：福山事務所・サテライト会場・Zoom 会費：無料 (テキスト代実費) 講師：(株) CF パートナース 峠本 正喜 氏
求人社員教育	日時：2 月 10 日 (火) 18 時 00 分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：求人活動、社員教育活動の計画
政策	日時：2 月 3 日 (火) 19 時 00 分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：政策アンケートの回答について 今後の活動計画 ほか
バリアフリー	日時：2 月 9 日 (月) 19 時 00 分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：今後の活動計画 今期の振り返り 次年度の活動計画
環境経営	日時：2 月 13 日 (金) 19 時 00 分開会 会場：事務局 会費：無料 議題：勉強会「GX の活用事例」 報告者：(株) カワムラ機工 河村直孝氏
地域内連携推進	日時：2 月 12 日 (木) 16 時 00 分開会 会場：(株) 恵木製作所 会費：無料 議題：企業訪問
青年部	個が活きるチーム作り 日時：2 月 2 日 (月) 19 時 00 分開会 会場：県民文化センター 会費：無料 報告者：follow (株) 妹尾 直道 氏 創業メンバーの離脱など、初期の苦しい時期を乗り 越えて現在では順調に売上を伸ばしています。自 身、自社を振り返ってもらう機会とします。
女性部	※今月はお休みです
有志の勉強会	ダイヤモンドクラブ 2026 年成長戦略～情勢・課題から戦略を描く②～ 日時：2 月 17 日 (火) 19 時 00 分開会 会場：(有) 大下木型製作所 会費：無料 報告者：参加者全員 2026 年を取り巻く情勢と目標と課題を報告し 合います。